

“もっと地元が好きになる”『2416MARKET』との合同企画

ルミネの農業プロジェクト「LUMINE AGRI PROJECT」が「横浜地産地消フェア」を開催

11/7（土）から11/29（日）までの毎週土日・祝日@ニューマン横浜 6F 2416MARKET

株式会社ルミネ（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：森本雄司）は、食のライフバリューを提案するルミネの農業プロジェクト「LUMINE AGRI PROJECT」の特別企画として、ニューマン横浜 6F の「2416MARKET」にて、横浜市の農産物を販売する「横浜地産地消フェア」を開催します。

本企画は、都市農業の課題解決を支援し、地域経済の活性化を目指す、コンコルディア・フィナンシャルグループの横浜銀行（代表取締役頭取 大矢 恭好）の企画協力のもと、“もっと地元が好きになる”をメインコンセプトに、神奈川の魅力発信を行うルミネの総合プロデュースの自主編集ゾーン「2416MARKET」とコンセプトが合致することから「横浜地産地消フェア」を開催することになりました。

横浜시는神奈川県内の自治体の中で農業生産額が多く、野菜やイモ類など生産品目も多様なことが特色です。横浜の食と農の魅力を発信するために、「横浜農場」を掲げ、横浜市が「地産地消月間」と定める11月の週末に横浜野菜を販売します。企画には、横浜市内の約6つの農家と横浜国立大学が参画し、西洋野菜など旬で珍しい野菜を取り揃えて販売します。



開催概要

〔期間〕11月7日（土）から11月29日（日）までの毎週土日・祝日

7日（土）、8日（日）、14日（土）、15日（日）、21日（土）、22日（日）、
23日（祝・月）、28日（土）、29日（日）

〔時間〕11：00～20：00（※店舗の営業時間に則る）

〔場所〕ニューマン横浜 6F 「2416MARKET」内

〔主催〕株式会社ルミネ LUMINE AGRI PROJECT / 株式会社STABLES / 株式会社横浜銀行

〔後援〕横浜市環境創造局 / 横浜国立大学 地域連携推進機構

横浜農場 出店者のご紹介

【小宮 藤康さん（戸塚区原宿）】

11月7日（土）、11月8日（日）



戸塚区原宿で農園を営む小宮藤康さん。親子2代で営業し、有機肥料を多く使用し、必要最低限の農薬のみ使用して栽培。新鮮で品質の高い“採れたて野菜”を、地元の方に届けたいという思いで栽培されています。

【佐藤 克徳さん（佐藤農園）（緑区十日市場町）】

11月14日（土）、11月15日（日）



緑区十日市場町で直売所を構える“野菜家（やさいや）佐藤農園”。無農薬・減農薬の農法にこだわった米や野菜は、香りが強く味が濃いと地域でも評判。佐藤さんが手掛ける農産物は、米をはじめ、野菜や果物など年間に80～100種。試行錯誤を繰り返して確立した農法で、神奈川県からは“エコファーマー”、横浜市からは米など一部が“特別栽培農産物”の認証を受けています。

【三村 大輔さん（保土ヶ谷区川島町）】

11月21日（土）、11月22日（日）



保土ヶ谷区川島町で直売所“なない畑”を構える三村大輔さん。旬を大切に多種類の露地野菜を、朝採れたてで提供されています。年間約60品目の野菜を育てており、野菜の他にも、ぶどうの藤稔（ふじみり）も自慢の一品です。区内で始まった「地場ワインづくりプロジェクト」に原料となるぶどうを提供し、江戸時代から続く農家の伝統を守りながらも新風を吹かしています。

【三村 薫さん（三村薫農園）（保土ヶ谷区川島町）】

11月21日（土）、11月22日（日）



保土ヶ谷区川島町で直売所を構える“三村薫農園”。減農薬にこだわり丁寧に手入れされた野菜を、朝採れたてで提供されています。日々の細かな手入れ・管理、可能な限り農薬を使わないで栽培することや、大量の堆肥を使用するなど、土作りも大事に栽培されています。

【小澤 信悟さん・千景さん（小澤農園）（神奈川県羽沢町）】

11月22日（日）、11月23日（祝・月）



美しい農景観が広がる神奈川県羽沢町で農園を営む小澤さんご夫妻。一年を通じてとってもカラフルな畑では、食卓に彩りを添える西洋野菜などを、少量多品種多品目で栽培されています。形や大きさだけでなく、色や模様も多種多様。

「HAZAWASODACHI」ブランドで売られており、シェフたちも注目しているようです。

【藤巻 学さん（保土ヶ谷区岡沢町）】

11月28日（土）、11月29日（日）



保土ヶ谷区岡沢町で農家を営む藤巻学さん。新鮮で良質な「採れたて野菜」を追求し栽培されています。秋～冬にかけての今の時期はキャベツ、レタス、ほうれん草、小松菜、ブロッコリーなどの野菜やみかんなどの果物も育てています。

【横浜国立大学 アグリッジプロジェクト（保土ヶ谷区）】

11月28日（土）、11月29日（日）



地元農家の指導を受け、保土ヶ谷区で野菜を栽培する横浜国立大学 アグリッジプロジェクト。コロナの影響で有志での活動にとどまっていますが、これまでの地元企業とのコラボ商品開発を含め、幅広く活動しています。

● 「LUMINE AGRI PROJECT」とは？



「LUMINE AGRI PROJECT」は、都会と畑を結びながら、食の出会いと学びの機会を作っていく、ルミネの農業プロジェクト。2018年4月1日に立ち上がり、現在は新宿駅と800° DEGREES NEAPOLITAN PIZZERIA 南青山店で「LUMINE AGRI MARCHE」を定期的に開催。また、2020年には、ニューマン横浜 6F 「2416MARKET」内に常設コーナーを新設。現在3か所で展開しています。

- ◇ <https://www.lumine.ne.jp/agri/>
- ◇ <https://www.facebook.com/lumineagri/>
- ◇ https://www.instagram.com/lumine_agrimarche/

● 「2416MARKET」とは？



「2416」とは神奈川県の総面積2,416 km²を意味し、「もっと地元が好きになる」をメインコンセプトに、神奈川のスタンダードとして愛され、根付いている商品・素材、そしてプロダクトを創り出すクリエイターやカンパニーの方々とのコミュニティと共に、それら神奈川の魅力をルミネの視点で編集・発信している、ルミネ総合プロデュースの自主編集ゾーン。直営飲食店「800° DEGREES」の新業態2店舗を中心に、飲食・物販で計7業態を一体的な環境で展開する大型マーケットです。

- ◇ <https://www.2416market.jp/>
- ◇ <https://www.instagram.com/2416market/>

● 「横浜農場とは？」



「横浜農場」とは、食や農に関わる多様な人たち、農畜産物、農景観など横浜らしい農業全体を農場として見立てた言葉であり、「横浜農場」を活用することで、都市農業の活性化や横浜の食や農による都市の魅力向上を図ることを目的としています。